

博士前期課程(修士) / 助産看護学領域 / 助産看護学分野科目

コード:280009

# 助産診断・技術特論演習Ⅳ(ハイリスク)

Midwifery diagnosis / technology special exercise Ⅳ (High-risk Pregnancy)

担当教員	曾山 小織、亀田 幸枝、河合 美佳 平吹 信弥(非)、上野 康尚(非)、工藤 淳子(非)、川島 真希(非)				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	3	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	60		
該当ディプロマ・ポリシー	(1)	(2)	◎	(3)	○
Keywords	ハイリスク妊産褥婦、ハイリスク児、産科救急、新生児仮死、育児困難、ケーススタディ、臨床推論、シミュレーション				
学習目的・目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハイリスク妊産褥婦および新生児の病態生理と治療法を理解し、エビデンスに基づいた助産ケアについて説明できる。</li> <li>2. 身体・心理社会的ハイリスク状態を予見し、正常からの逸脱の判断し、異常の予防・早期発見・対応のための助産ケアを立案できる。</li> <li>3. ハイリスク妊産褥婦および新生児への助産師の役割ならびにチーム医療における協働・連携について理解できる。</li> <li>4. 臨床推論とシミュレーション学習を通じて、産科救急場面における適切な判断と対応を実践できる。</li> <li>5. 新生児蘇生法(NCPR)の技術を習得し、新生児の救急処置を適切に実施できる。</li> </ol>				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1-2	オリエンテーション、課題提示、ハイリスク妊娠の定義と助産師の役割 ハイリスク妊娠の定義と助産師の役割			講義	曾山
3	心理社会的ハイリスク妊産褥と家族への支援 育児困難感を持つ親への支援			講義	川島
4-5	分娩期の異常と対応の実際 分娩誘発、多胎分娩、吸引・鉗子分娩、麻酔(無痛)分娩、肩甲難産、骨盤位分娩			講義	
6-7	会陰切開・会陰裂傷縫合術の実際			講義・演習	
8-9	産科的出血と産科ショック時の対応			講義・演習	平吹
10-11	胎児・新生児の主たる疾患の診断と治療 低出生体重児・早産児の疾患の診断と治療			講義	上野康
12-21	臨床推論・シミュレーション学習 麻酔(無痛)分娩、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、双胎、前置胎盤			演習・討議	曾山・亀田・河合
22-25	臨床推論・シミュレーション学習 帝王切開(出血)			演習・討議	曾山・亀田・河合
26-29	新生児の救急処置 (新生児蘇生法<NCPR>、救急搬送含む)			講義・演習	上野康
30	NICUにおける児と家族へのケア			講義	工藤
	定期試験				
教科書	助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア:日本看護協会出版会 JRC蘇生ガイドライン2025に基づく 新生児蘇生法テキスト 第5版(最新版)				
参考図書等	産科エマージェンシー臨床推論:メディカ出版 産婦人科必修 母体急変時の初期対応 第3版 シミュレーションで分娩前後の母体安全を徹底理解!:メディカ出版 随時紹介する				
評価方法・基準	定期試験:60%、演習・討議:40%				
関連科目	助産診断・技術特論演習Ⅰ(概論・妊娠期)、助産診断・技術特論演習Ⅱ(分娩期)、助産診断・技術特論演習Ⅲ(産褥期・新生児期・乳幼児期)、健康教育演習、地域母子保健特論、助産管理特論、助産実践実習Ⅰ-1(正常・継続)、助産実践実習Ⅰ-2(正常)、助産実践実習Ⅱ(ハイリスク・継続)				
教員から学生へのメッセージ	ハイリスクの妊産褥婦と新生児は潜在的なリスクを抱えた事例を含めて増加の一途をたどっています。いかなる状況においても、妊産褥婦や新生児および家族により質の高いケアが提供できるよう、知識・アセスメント能力・ケア計画の立案能力の向上を目指してください。本科目にはNCPRの資格認定に必要な内容を含みます(NCPRの認定研修は在籍年度のいずれかで実施)。臨床推論とシミュレーション学習を通じて、実践的な判断力を着実に修得してください。				